

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月16日

協議会名： 奈井江町地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
奈井江町	市街地循環線 【みなクル～奈井江駅～みなクル】	庁舎内や公共施設に路線図・時刻表のパンフレットを置いて利用者拡大を図った。 また、免許返納者に対して地域公共交通の利便性を伝え、利用促進を図った。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 輸送人員は、目標1,750人/年に 対し、1,834人/年の利用。 達成率104.8%と目標を上回った。	目標を達成し、利用者も増加していることから、今後においても利用者のニーズを的確に把握し、利用者増加に努める。 また、免許返納者の利用もあり、利用促進が図られた。
	向ヶ丘線 【みなクル～奈井江駅～向ヶ丘】	庁舎内や公共施設に路線図・時刻表のパンフレットを置いて利用者拡大を図った。 また、免許返納者に対して地域公共交通の利便性を伝え、利用促進を図った。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 輸送人員は、目標5,900人/年に 対し、5,518人/年の利用。 達成率93.5%と下回った。	免許返納者の利用もあり、利用促進が図られたものの、利用者の定着もあり、目標を達成することができなかった。 今後においても利用者のニーズを的確に把握し、利用者増加に努める。
北星三星交通株式会社	乗りあいタクシー【全エリア】	庁舎内や公共施設に路線図・時刻表のパンフレットを置いて利用者拡大を図った。 また、免許返納者に対しても利用促進を図った。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 輸送人員は、目標800人/年に 対し、774人/年の利用。 達成率96.8%と目標を下回った。	免許返納者の利用もあり、利用促進が図られたものの、利用者の定着もあり、目標を達成することができなかった。 今後においても利用者のニーズを的確に把握し、利用者増加に努める。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和7年1月16日

協議会名：	奈井江町地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	①日常生活に必要な公共交通の確保 ・急速に高齢化が進む中、生活交通の確保を目的として、自家用車からいつでも公共交通に転換できるよう、公共交通体系の確立が求められている。 ②公共交通空白地域の解消 ・国道12号、道道奈井江浦臼線及び町営バス向ヶ丘線沿線以外は、公共交通空白地域となっている。特に市街地でも南町の一部は公共交通空白地域となっており、解消が必要である。 ③地域に即した公共交通と高齢化への対応 ・市街地域(本町、北町、東町、南町)に人口の8割が居住し、この地域の人口密度は高く、農村地域の人口密度は低い状況である。また、農村地域の厳島、宮村、白山及び向ヶ丘栄町の高齢化率は5割を超え、大和、茶志内及び住友新町の高齢化率は4割以上と高い状況である。 ・このことを踏まえ、人口密度の高い市街地域では、買物や通院、町外への移動のためにJRや中央バスの接続に配慮した、循環バスの運行により生活交通の確保を図ることが必要である。合わせて、通院や買物などに関しては、荷物や停留所までの歩行、冬期間のことを考慮し、施設入り口に停留所を設けるなど、高齢者に配慮した対応が必要である。 ・農村地域では、買物や通院、町外への移動に対し、自宅前送迎の乗りあいタクシーの運行により、高齢者に配慮した対応と合わせ、生活交通の確保を図ることが必要である。